

さわらび短歌会

いつしらに心棒となりし短歌なれば
 ひたすら詠み継ぐ今日といふ日を
 ようやくに体力戻りて背伸びする
 朝の空はいつしか秋色
 葛の花色やわらかに散り敷きて
 遍路も足止む霧雨の道
 蚊帳の中うちわで風を送りくれし
 母の傍に幼き我ら
 鷺一羽刈田の畔に動かざり
 釣瓶おとしの日はもう暮れる
 青春の山崎ハコの「織江の歌」
 胸迫りくる深夜の書齋

前田 知子
 松本マス子
 門屋あけみ
 河上 明美
 岩村千代子
 藤井 擴

遠ざかりまた近づける合唱に
 耳をすませば「母さんの歌」
 順位より一生懸命走ること
 諭して寂し吾に似る孫
 彼岸入り頂くミカンの極早生を
 供うる部屋に香り広がる
 八十の手習ひライン教はりて
 繰り返し見る曾孫の動画
 今少し土に親しみ夕顔の
 儂さみたし月かげのもと
 大相撲名古屋場所は満席に
 女性の客の和服目につく

前田 昭夫
 澤近 正弘
 生田八寿子
 前田 充
 水野美代子
 扇野八代生

菊川俳句会

伝統を少し残して秋祭
 南楽園一步一景冬支度
 畔道に歩みを止めし野菊咲く
 星月夜我が子を想うひかり飛ぶ
 本棚に秋思の処方探しをり
 酒蔵の残り香天窓の秋空
 銀杏の木秋天へまだ行く途中
 秋天へわたしの押忍のかけぬける
 木犀のほろほろ髪に手に君に

中川 一喜
 安岡留美子
 河野 孝
 河野 清美
 和田 靖樹
 福田 りさ
 浅野勇一郎
 宇野 天弓
 迦恋

死亡後の手続きについては
 町ホームページをご覧ください。



愛南町
 ホーム
 ページ